



人と防災未来センター

令和4年度

研究調査員 募集！

人と防災未来センターでは、阪神・淡路大震災の経験と教訓や学術的な知見、災害時における全国自治体への現地支援活動などを通して蓄積された研究成果に基づき、災害対策専門職員の育成研修や、自治体・企業・コミュニティなどの災害対策や立案に役立つ実践的な防災研究を行っています。

このたび、地方自治体などで防災に携わる職員を対象に、当センターにおいて災害被害の軽減に資する調査・研究を行う「研究調査員」を募集しますので、皆さん奮ってご応募願います。

研究調査員のお仕事

当センターの研究成果を国内外に普及・発信し、当センターのミッションである災害文化の形成、地域防災力の向上、防災政策の開発支援など、安心・安全な市民協働・減災社会の実現に向けて、業務を担っていただきます。

【主な業務】

- ▼災害被害の軽減など実践的な防災研究と研究成果の発表
- ▼被災自治体への支援活動・現地調査の実施
- ▼災害対策専門研修の企画・コーディネーター
- ▼市民、学生などとの協働による交流事業の企画 等

研究調査員の特徴

○当センターの研究者や国内の防災研究の第一人者である上級研究者など専門家から指導や助言を受け、防災現場のニーズに対応した研究内容としていくことができます。

○災害対策専門研修や被災自治体への支援活動に携わり、自治体などの職員との交流やネットワークづくりができます。

○研究を通して、皆さんが持つ防災への知識や専門性が思う存分に発揮できるとともに、当センターの研究者と切磋琢磨しながら、さらに伸ばしていただくことができます。

○当センターでの研究成果を政策として実現することができます。

これまで17人の研究調査員が在籍し、職場に戻られた後、当センターで得た経験や研究成果を活かし、防災計画の策定に関わるなど、防災・危機管理部門の幹部職員として活躍されています。

<裏面もご覧ください>

先輩研究調査員からのメッセージ



有吉 恭子さん【平成30年10月～令和2年3月在籍】

(現：吹田市総務部危機管理室総括参事)

「防災の世界は、男だらけ」、「被災後は体力も要るし、女性に防災は無理かな?」と聞いていませんか? その思い込みは人防で気持ちよく覆されます。性別に関係なく経験と個性、研究内容で議論できる世界が広がっており、寧ろ女性にオススメの職場です。

研究調査員としての日々で、「人脈」と「自分の成長」を得ました。人防で得た知見と人脈を組織に持ち帰ったことで、市の災害対応力を継続的に向上できています。仲間との共同研究、被災地支援などの刺激的な日々は、自分自身をより謙虚に、成長させたと感じます。

木山 正一さん【平成30年4月～平成31年3月在籍】

(現：鳥取県危機管理局危機対策・情報課課長補佐)

何を研究すればよいのかイメージがわからない方へ。

研究テーマがじっくりこないなら、着任してからじっくり考え直してもいいと思います。研究者や他の自治体職員など、自分とは立場や視点が異なる人とのコミュニケーションを通じて気づくことがあるかもしれません。自分の組織を外側から見ることで得られるものもあるでしょうし、同僚の研究者と相談してヒントをもらってもいいと思います。ぜひ何かを見つけて、成果を持ち帰ってください。ファイト!



岸江 竜彦さん【平成30年6月～平成31年1月在籍】

(現：三重県防災対策部防災企画・地域支援課係長)

災害時に活動できる職員を体系的に育成するため、研究調査員を志望し、その方法論の研究調査を行いました。センター保管の貴重な文献の調査や全国都道府県へのアンケート、多くの被災自治体支援活動を通して育成の方向性を整理しました。研究員と日々議論し、上級研究員のご指導も頂き、とても充実した環境でした。職場に戻った後、研究成果を基に県の指針を整備し、全職員を対象とした防災人材育成に取り組んでいます。研究調査員の経験を活かすことで、各自治体の災害対応力がさらに向上することを期待しています。

藤原 宏之さん【令和元年10月～令和2年6月在籍】

(現：伊勢市危機管理部危機管理課主査)

被災自治体の災害対策本部では場所を変えて同じ混乱が起こっており、これを低減することはできないかと問題意識を持っていました。在職中に質問紙調査を行い、論文を執筆しました。研究や論文執筆、学会での発表は私にとって初めての経験でしたが、人防研究員の皆様に支えていただいたことで達成できた経験です。着任後は多忙な日々になりますが、明確な目標を持ち、それを達成するために努力すれば、行政の職場では得られない経験ができる特別な場所になるはずです。



応募の詳細

人と防災未来センターホームページの「お知らせ」より募集要項をダウンロードください。

<https://www.dri.ne.jp>

応募期限

令和4年2月4日(金) 17:00必着【郵送のみ受付】

※募集封筒に「研究調査員応募書類在中」と朱文字で記入ください。

提出先・お問い合わせ

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

人と防災未来センター 事業部普及課

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5-2

電話 078-262-5066

Eメール hitobou-fukyuuka@dri.ne.jp